

## 式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。小学校での感動の卒業式を終え、本日それぞれに新しい希望に胸ふくらませて、砧中学校の校門をくぐったことと思います。校内の美しい桜の花も、皆さんのお祝いの日までがんばってくださいました。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。来賓の皆様にも、厚くお礼を申し上げます。

さて、中学生になった皆さんに、今日伝えたいことがあります。

まず、失敗や間違いを怖れず、授業や行事、委員会、部活動など様々なことに挑戦してください。これまで挑戦してこなかった人、たぶんあなたに足りないのはほんの少しの「勇気」です。皆さんの先輩たちも先生方も全力で応援しますので、自分を信じて、勇気を出して、中学生になったこの機会に、新しい挑戦を試みましょう。もしうまくいかなかったとしても、うそをつかない、ごまかさない、正直な生き方をしてください。そして、友達の挑戦も心から応援できる、やさしい人になってください。

次に、お互いの個性を大切に、ちがいを認めるといふ寛容な心についてです。「普通って何だろう」答えられる人はいますか。自分

とは性格がちがう、体格がちがう、考え方やものの受け取り方、感じ方、表現の仕方がちがう人がいますが、それは当たり前前のことです。それを自分とちがうとか普通じゃないとかいつて責めたり、見下したり、仲間はずれにしたりするような、自分勝手に不寛容な人には絶対にならないでください。人にはそれぞれ悩みや事情、苦手やコンプレックスがあります。その上で、相手の気持ちを想像して、みんなで助け合って楽しく生活する砧中学校の一員になってください。

砧中学校では、生徒の皆さんが責任を持って選んだり判断したりする機会が増えていきます。新入生の皆さん、皆さんは砧中の未来そのものです。これから始まる中学校生活、新しい友や先輩、先生との出会い、様々な体験を経て、今よりもっともつと砧中学校を好きになってください。三年間、将来の夢やなりたい自分に向かって努力し、たくさんの成功と少しの壁にぶつかる経験を通して大きく成長されることを期待して、式辞といたします。

令和六年四月九日

砧の学び舎 世田谷区立砧中学校長 加藤敏久